

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会  
平成23年度第3回理事会 議事録

- 【開催日時】平成23年7月14日 正午から午後1時30分まで  
【開催場所】京都国際会館「555」京都市左京区岩倉大鷲町422番地  
【出席した理事】加藤真介、加藤義治、川上 守、佐藤栄修、高橋和久、田口敏彦、千葉一裕、出沢 明、徳橋泰明、中村博亮、富士武史、星野雄一、山下敏彦、米 和徳  
【出席した監事】佐藤哲朗、里見和彦  
【オブザーバー】永田見生（第41回日本脊椎脊髄病学会学術集会会長）  
【欠席した理事】菊地臣一、川上紀明

【議事の経過の要領及びその結果】

菊地臣一理事長が欠席したため、高橋和久副理事長は、理事長代行として議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

決議事項

1 第1号議案 評議員選考並びに理事・次々期会長選挙公示承認の件

千葉一裕理事は、資料1に基づき、評議員選考並びに理事・次々期会長選挙に関する説明を行い、会告案を提示して議場に諮った。各理事は、慎重に審議し、全員一致でこれを承認可決した。

なお、選考後評議員数は160名程度とし、評議員不在の県に推薦評議員を置くことを再確認した。

また、理事の任期は法人設立前の任期を1期目とみなして半数交替の原則を維持することを確認した。

本件に関連して学術集会会計については、第43回から特別会計として取り扱うことを再確認した。

2 第2号議案 入退会承認の件

佐藤栄修理事は、資料2に基づき、平成23年4月～6月の入退会審査結果が会員16名の入会及び一般会員7名、専門会員3名の退会である旨の報告を行い、議場に諮った。各理事は、慎重に審議し、全員一致でこれを承認可決した。

3 第3号議案 クリニカル・フェロー制度規程並びに同研修施設募集会告承認の件

米和徳理事は、資料3に基づき、法人設立に伴うクリニカル・フェロー規程の策定と、指導医資格継続制度施行に伴い認定期間を延長していた研修施設についての募集会告を改めて提示し、これらを議場に諮った。各理事は、慎重に審議し、全員一致で、これを承認可決した。

4 脳脊髄液減少症研究班診断基準案件等結果承認の件

川上守理事は、資料4に基づき、脳脊髄液減少症研究班診断基準案並びにこれに関する本会診断評価等基準委員会の意見について詳細な説明を行った。各理事は、慎重に審議し、全員一致で、委員会意見を承認可決した。

5 「旅費等の支給について」承認の件

千葉一裕理事は、資料5に基づき、従来の旅費規程を見直した旅費等の支給について」の原案を提示し、詳細な説明を行った。各理事は、慎重に審議し、全員一致で、変更の必要なしとして差し戻し、再検討することを決議した。

審議・報告事項

6 評議員選考委員会の構成員となる「評議員を代表する者」の選出方法等報告の件

千葉一裕理事は、資料6に基づき、評議員選考委員会の構成員となる「評議員を代表する者」の選出方法等に関して説明を行った。

各理事は地区代表理事を取り纏め役として、地区代表評議員1名を「評議員を代表する者」の候補者として第5回理事会に推薦する方法を取ることにした。

7 第40回日本脊椎脊髄病学会学術集会会計暫定報告の件

野原裕前会長代理の千葉一裕理事は、資料7に基づき、暫定収支は黒字で推移している旨の報告を行った。

8 第41回日本脊椎脊髄病学会学術集会準備状況報告の件

議長は、オブザーバーとして出席している永田見生第41回日本脊椎脊髄病学会学術集会会長に発言を求めた。

永田見生会長は、資料8に基づき、準備状況報告を行った。とりわけ本年3月の震災により第40回学術集会がオンライン形式になったことを考慮した企画を進めていることなどに関する説明があった。

9 学術集会プログラム検討委員会委員交代報告の件

田口敏彦理事は、吉田宗人次々期会長が委員となり、第39回会長谷俊一先生と交代したい旨の報告を行い、各理事の了承を得た。なお、当委員会は学会長によって構成されているため委員交代と委員長任期を委員会設置規程に追加するよう議場に求め、委員任期は次々期会長選出の翌日から4年後の次々期会長選出日までとする案を示した。定款等検討委員会担当出沢明理事は同規程の見直しを了承した。

10 教育研修委員会第9回研修コース報告の件

米和徳理事は、資料9に基づき、第9回脊椎脊髄病研修コースについて震災の影響によって独立開催となり、経費増による若干の赤字が計上される見通しである旨の報告を行った。

11 国際委員会トラベリング・フェロー募集会告と募金趣意書並びに用途変更報告の件

富士武史理事は、資料10に基づき、第7回アジアトラベリング・フェロー募集会告案並びに新設予定のアワードにも対応可能な募金趣意書案とした旨の説明を行い、各理事の了承を得た。

12 JSR 編集委員会 JSR 財政状況等報告の件

星野雄一理事は、資料11に基づき、JSR第2巻制作費について、想定内で推移する見通しである旨の報告を行った。なお第2巻5号から超過頁料金@15,750円を各団体が負担することもあわせて報告された。

13 診断評価等基準委員会 JOABPEQ、CMEQ マニュアル書作成に関する報告の件

川上守理事は、資料 12 に基づき、マニュアル書作成にかかる寄付に関する報告を行い、作成を進める旨の報告を行った。

- 14 診療ガイドライン策定委員会腰部脊柱管狭窄症診療ガイドライン進捗状況報告の件  
佐藤栄修理事は、腰部脊柱管狭窄症診療ガイドラインの進捗状況について報告を行った。
- 15 プロジェクト委員会委員交代報告の件  
議長は、プロジェクト委員会モニタリングワーキンググループ谷口慎一郎先生の転勤に伴う委員辞退を受け、高知大学木田和伸先生を後任としたい旨の報告を行い、各理事の了承を得た。
- 16 専門医制度に関する報告の件  
中村博亮理事は、資料 13 に基づき、専門医制度評価・認定機構が加盟申請を再開したため、関連学会と早急に意見交換を行い、必要な手続きを行って申請の準備を進める旨の報告を行った。あわせて、同理事は、関連学会との交渉等の経費を理事長直轄の渉外ワーキンググループに計上する旨の提案を行い、各理事の了承を得た。  
なお、本件が日本医学会への加盟を前提とするかどうか検討を進めることとなった。
- 17 各種届出様式の変更に関する報告の件  
千葉一裕理事は、資料 14 に基づき、各種届出様式の変更について詳細な説明を行い、各理事は、これを了承した。

#### その他

- ・運動器の 10 年・日本協会継続加入報告の件  
千葉一裕理事は、資料 15 に基づき、運動器の 10 年・日本協会に引き続き加入する旨の提案を行い、各理事はこれを了承し、本年度会費 20 万円の納入手続きを行うこととなった。
- ・事務所スペース拡張に関する報告の件  
千葉一裕理事は、現在の事務局スペースが 7 坪と極小であること、業務拡張に伴う職員増員及び保管スペースの必要性について説明を行い、徳橋泰明理事を担当役員として今期中に事務局移転を実施する旨の提案を行った。徳橋理事は、これを快諾し、原則として本郷近辺で現在の倍の広さの物件を探すことを確認し、各理事に情報提供を依頼した。  
移転時期は本年 12 月中に完了することを確認した。
- ・事務局の業務担当報告の件  
千葉一裕理事は、資料 16 に基づき、今年度の業務担当職員を決定した旨の報告を行った。
- ・ホームページバナー広告掲載の件  
千葉一裕理事は、大正富山医薬品(株)からバナー広告掲載に関する照会があった旨の報告を行った。各理事はこれを審議し、掲載に向けて広告料等の詳細決定を広報委員会担当山下敏彦理事に一任し、同理事はこれを快諾した。
- ・会費未納による除名者の再入会の件  
佐藤栄修理事は、会費未納による除名者から再入会希望があった旨の報告を行い、次回理事會にこの取り扱いに関する素案を提示する旨の発言を行った。

・「脊椎の痛みを学ぶ会」の件

議長は、各地区においてファイザー社との共催により「脊椎の痛みを学ぶ会」を開催する旨の報告を行った。

所要の議事を全て終了したため、議長は、閉会を宣言した。

以 上

平成23年7月14日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 副理事長 高橋和久

監 事 佐藤哲朗

監 事 里見和彦